

ヘルニコアの治療を受けられる方へ

順心神戸病院は、椎間板酵素注療法（腰椎椎間板ヘルニコア治療剤）の実施認定施設です。

ヘルニコアはどのような薬？

ヘルニコアは、椎間板内酵素注入療法に使用する薬剤で、ヘルニアを起こしている椎間板の髄核内に直接注射します。

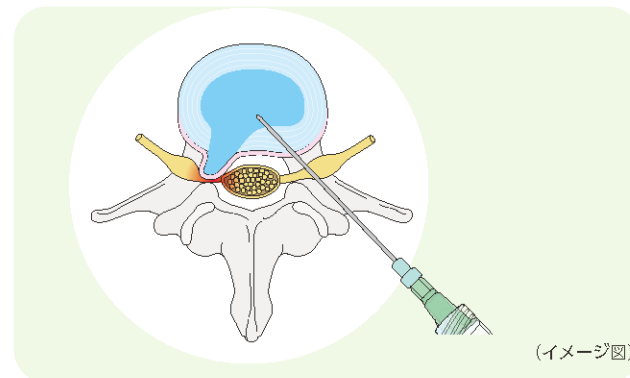
（ヘルニコアでの治療は、原則として入院の必要はなく、治療後しばらく安静にして体調に異変がなければ帰宅できます。）

髄核の構成成分を分解するヘルニコア

ヘルニコアの有効成分コンドリアーゼは、髄核の保水成分（プロテオグリカン）を分解する酵素です。なぜ、保水成分の分解酵素が椎間板ヘルニアに有効なのでしょう？

通常、髄核には保水成分が豊富にあるため、水分を含んで膨らんだ状態にあります。これは、飛び出して神経を圧迫しているヘルニアの髄核でも同じです。

この髄核に適切な量のヘルニコアを注入すると、コンドリアーゼによって髄核内の保水成分が分解され、水分による膨らみが適度にやわらぎます。その結果、神経への圧迫が改善し、痛みやしびれが軽減すると考えられています。



(イメージ図)



有効期限 2022年3月31日

認定証

社会医療法人社団順心会順心神戸病院

上記施設を一般社団法人日本脊椎脊髄病学会 椎間板酵素注入療法実施可能施設として認定します

※ただし当学会脊椎外科指導医が不在となった場合は認定取り消しとなります

2021年9月1日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

理事長 松山幸弘

